

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 岩田 淳

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	269,059	2.4	36,173	36.6	36,972	63.6	20,323	89.8
21年3月期第3四半期	262,815	—	26,487	—	22,597	—	10,705	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	319.65	319.63
21年3月期第3四半期	167.57	167.28

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	294,817	199,862	60.3	2,825.56
21年3月期	278,313	185,590	60.2	2,634.12

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 177,811百万円 21年3月期 167,667百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
22年3月期	—	35.00	—		
22年3月期 (予想)				35.00	70.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	6.4	42,700	22.4	42,000	32.9	22,000	28.4	349.60

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 68,981,591株 21年3月期 68,981,591株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 6,052,070株 21年3月期 5,329,376株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 63,579,678株 21年3月期第3四半期 63,886,022株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)における当社グループをとりまく経営環境は、各国の景気刺激策の効果や在庫調整などにより世界経済はアジアを中心に回復の傾向が見られます。一方、日本国内においては、企業収益の低迷、個人所得の低下など依然として厳しい経済環境が続いております。

このような事業環境の中、国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入と商品ラインアップの拡大、各種キャンペーン実施による販売促進の強化に取り組みました。ペットケア事業におきましても、高付加価値カテゴリーの商品ラインを充実し販売強化に取り組みました。海外事業では、アジア、中東・北アフリカ地域において展開エリアの拡大と積極的なプロモーション活動による販売促進を進めました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は269,059百万円(前年同四半期比2.4%増 為替変動要因を除くと実質前年比7.6%増)、営業利益は36,173百万円(前年同四半期比36.6%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比41.7%増)、経常利益は36,972百万円(前年同四半期比63.6%増)、四半期純利益は20,323百万円(前年同四半期比89.8%増)と過去最高の収益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①パーソナルケア

## 【ベビーケア事業】

国内では、新開発「のび〜るフィット」でウエスト全体のフィット性を高めた『ムーニーおつき仕立て』M・Lサイズを改良新発売し、ムーニーブランドの強化に取り組みました。

また、『マミーポコ』、『マミーポコパンツ』で「選ぼう!おむつのデザインキャンペーン」を実施し、人気投票で第1位に選ばれた「チップ&デール」をパッケージおよび商品のデザインに採用し、販売促進を図りました。

一方、中国では参入都市を拡大し売上成長と収益改善を進めました。またインドネシア、中東・北アフリカ地域、韓国においても売上成長および収益力の改善を図りました。

## 【フェミニンケア事業】

国内では、成長セグメントの肌ケア市場に対し『ソフィはだおmoi』の製品ラインアップの拡大とテレビ広告及び店頭におけるマーケティング活動を強化しました。また、肌のベタつき感を軽減する『ソフィ超熟睡ガード』の改良新発売、『センターインコンパクト』の吸収力強化とパッケージ変更を実施し、高付加価値カテゴリーの売上拡大、収益改善を図りました。

海外では、中国において地方都市へ販売エリアを拡大し、売上の拡大を進めました。また、アジア参入各国で夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。

## 【ヘルスケア事業】

「つけやすさ」と「つけ心地」がよく「モレにくい」大人用テープタイプの排泄ケア用品『ライフリー 横モレあんしんテープ止め』に新たにSサイズとLLサイズを発売し、サイズラインアップを充実させ売上拡大に努めました。また、軽い尿モレに不安を抱える人に対応した軽失禁パッド『ライフリー さわやかパッド』シリーズに、吸収力そのままに前後をより薄くして普段の生活でもすっきり快適な『ライフリー さわやかパッドスリム』を新しくラインアップに追加し、市場を拡大してまいりました。また、新型インフルエンザ流行の影響により、消費者の予防意識に応えた『ユニ・チャーム 超立体マスク』のプロモーションを強化し、市場拡大を図りました。

## 【クリーン&amp;フレッシュ事業】

シートクリーナー『ウェーブ』より、360度×2本でたっぷり汚れが吸着できる『ウェーブ ふわミミ吸着ハンディ』をラインアップに追加し、清潔志向の高まりに応えるとともに売上拡大を図りました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は223,872百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業利益は28,319百万円(前年同四半期比36.6%増)となりました。

②ペットケア

「健康と清潔でペットの暮らしを快適に」の理念の下、ペットが元気で長生きし、清潔な環境で暮らしていくためペットフード部門、ペットトイレタリー部門の2事業部門に特化して、事業展開を図ってまいりました。消費者ニーズを捉えた製品の開発・市場創造に努め、国内のペット飼育の4大潮流である、「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」に伴う消費者ニーズに対応する製品ラインの拡充と販売促進を行ってまいりました。また、犬・猫の長寿化の進展とともにいつまでも元気で長生きして欲しいと願うペット飼育者のニーズに応え、“13歳以上用”という新しい年齢セグメントを創造する商品として、『愛犬元気 13歳からの愛犬用』、『ゲインズ パックン 13歳からの愛犬用』、『ねこ元気 13歳以上用』、『ねこ元気13歳以上用 パウチタイプ』、『銀のスプーン13歳以上用』、『銀のスプーンプレミアムグルメ13歳以上用』、『銀のスプーン13歳以上用 缶』、『銀のスプーン13歳以上用パウチタイプ』、『銀のスプーン おいしいスープ13歳以上用』を発売いたしました。

この結果、売上高は36,479百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は6,839百万円（前年同四半期比30.1%増）となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用製品分野においては、スーパーマーケット等を顧客とする食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、売上高は8,710百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は981百万円（前年同四半期比122.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は294,817百万円（前連結会計年度比5.9%増）となりました。主な増加は、現金及び預金4,102百万円、受取手形及び売掛金5,601百万円、有価証券5,113百万円、機械装置及び運搬具1,223百万円、投資有価証券1,890百万円であり、主な減少は、商品及び製品2,180百万円、原材料及び貯蔵品1,403百万円などによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は199,862百万円（前連結会計年度比7.7%増）となりました。主な増加は、当第3四半期純利益20,323百万円、その他有価証券評価差額金710百万円、少数株主持分4,128百万円であり、主な減少は、自己株式の取得6,496百万円、剰余金の配当の支払3,946百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は60.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成21年10月22日発表と変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,727	74,625
受取手形及び売掛金	46,530	40,929
有価証券	10,647	5,534
商品及び製品	10,722	12,903
仕掛品	223	342
原材料及び貯蔵品	8,041	9,445
その他	8,219	10,594
貸倒引当金	△90	△84
流動資産合計	163,022	154,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,324	23,898
機械装置及び運搬具(純額)	42,028	40,804
その他(純額)	24,447	19,543
有形固定資産合計	91,800	84,247
無形固定資産		
のれん	12,205	12,734
その他	2,542	3,493
無形固定資産合計	14,747	16,228
投資その他の資産		
投資有価証券	17,500	15,609
その他	8,342	8,101
貸倒引当金	△596	△164
投資その他の資産合計	25,246	23,546
固定資産合計	131,794	124,022
資産合計	294,817	278,313
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,188	37,676
短期借入金	6,305	4,666
未払法人税等	7,465	4,332
賞与引当金	2,235	3,299
その他	35,233	30,546
流動負債合計	87,427	80,521
固定負債		
長期借入金	1,047	1,206
退職給付引当金	2,258	6,160
その他	4,221	4,833
固定負債合計	7,527	12,200
負債合計	94,954	92,722

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	184,648	168,283
自己株式	△36,325	△29,829
株主資本合計	183,117	173,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,456	1,745
繰延ヘッジ損益	△3	△28
土地再評価差額金	△535	△546
為替換算調整勘定	△7,223	△6,751
評価・換算差額等合計	△5,306	△5,580
少数株主持分	22,051	17,923
純資産合計	199,862	185,590
負債純資産合計	294,817	278,313

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	262,815	269,059
売上原価	156,121	145,478
売上総利益	106,693	123,580
販売費及び一般管理費	※1 80,206	※1 87,407
営業利益	26,487	36,173
営業外収益		
受取利息	560	359
受取配当金	245	219
有価証券売却益	40	—
為替差益	—	1,745
助成金収入	368	—
その他	417	528
営業外収益合計	1,633	2,853
営業外費用		
支払利息	230	165
売上割引	1,360	1,803
為替差損	3,755	—
その他	175	85
営業外費用合計	5,522	2,054
経常利益	22,597	36,972
特別利益		
固定資産売却益	11	35
貸倒引当金戻入額	40	—
特別利益合計	52	35
特別損失		
固定資産処分損	308	455
投資有価証券評価損	3,011	—
貸倒引当金繰入額	—	417
その他	30	120
特別損失合計	3,351	993
税金等調整前四半期純利益	19,298	36,014
法人税、住民税及び事業税	6,080	13,086
法人税等調整額	△88	△1,609
法人税等合計	5,991	11,477
少数株主利益	2,601	4,213
四半期純利益	10,705	20,323

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	219,485	34,650	8,678	262,815	—	262,815
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	2	4	(4)	—
計	219,487	34,650	8,681	262,819	(4)	262,815
営業利益	20,727	5,257	440	26,425	61	26,487

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	223,871	36,479	8,707	269,059	—	269,059
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	2	3	(3)	—
計	223,872	36,479	8,710	269,062	(3)	269,059
営業利益	28,319	6,839	981	36,140	32	36,173

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	168,888	58,336	35,589	262,815	—	262,815
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,816	1,859	—	9,675	(9,675)	—
計	176,705	60,195	35,589	272,490	(9,675)	262,815
営業利益	17,966	7,375	955	26,296	190	26,487

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	170,640	68,465	29,952	269,059	—	269,059
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	9,795	1,586	—	11,381	(11,381)	—
計	180,435	70,051	29,952	280,440	(11,381)	269,059
営業利益	25,233	9,306	1,638	36,178	(5)	36,173

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	58,339	25,941	12,666	96,947
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	262,815
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	22.2	9.9	4.8	36.9

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	68,473	17,822	13,156	99,452
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	269,059
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	25.4	6.6	4.9	37.0

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 表示方法の変更

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益に区分掲記しておりました「有価証券売却益」及び「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20以下になったため、当第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

(2) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 13,658百万円 販売促進費 26,846百万円 広告宣伝費 7,334百万円 従業員給与・賞与 8,944百万円 賞与引当金繰入額 785百万円 退職給付費用 820百万円 減価償却費 1,765百万円	※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 13,778百万円 販売促進費 31,490百万円 広告宣伝費 9,237百万円 従業員給与・賞与 9,330百万円 賞与引当金繰入額 796百万円 退職給付費用 1,047百万円 減価償却費 1,466百万円